

食の安全を科学する「サイエンスカフェ」第1話 実施報告

1. 開催概要

主催 食品安全委員会、群馬県

会場 ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)

開催期間・時間 平成21年1月20日(火) 18:30 ~ 20:00 予定終了時刻を30分程超過

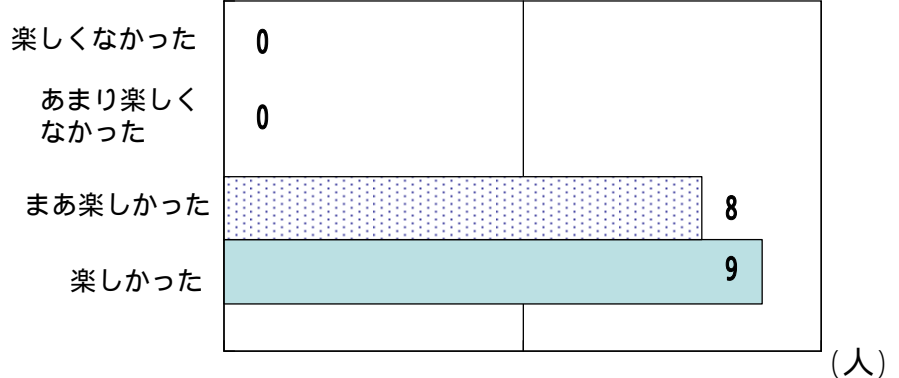
来場者数 26名(一般の方 23名、新聞記者3名)

テーマ 「安全な食べもの」って何だろう? ~ 健康を守るからだのしくみ ~

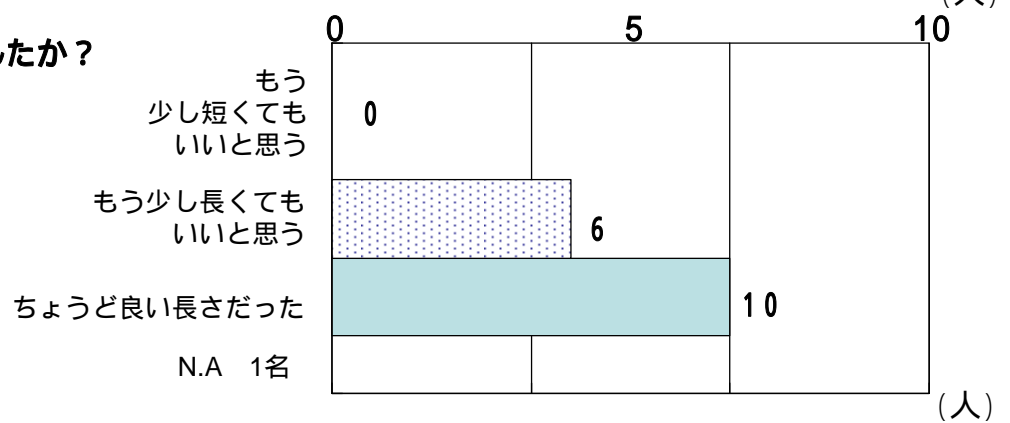
スピーカー: 小泉委員 コーディネーター: 隈本邦彦(江戸川大学教授)

2. 来場者アンケート結果(単純集計のみ 回答数: 17)

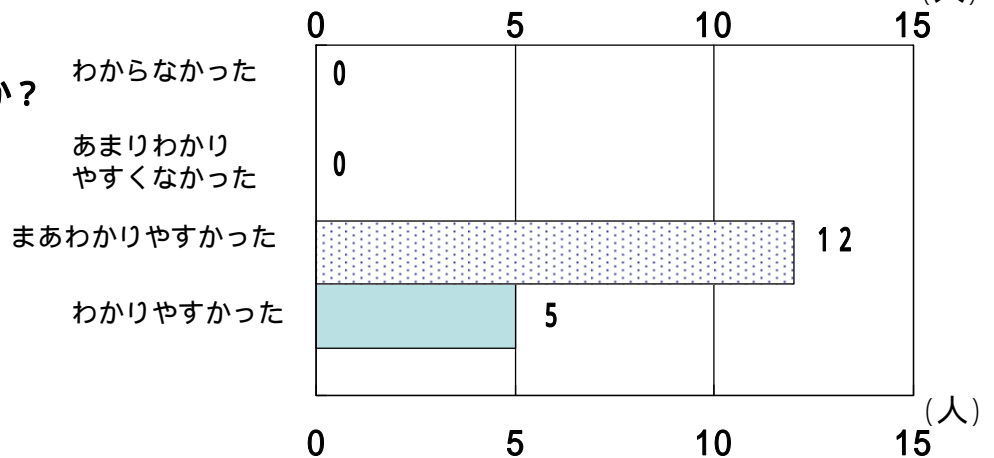
問1. 本日のサイエンスカフェは楽しんでいただけましたか?



問2. 全体の時間はどうでしたか?



問3. スピーカーの話はわかりやすかったですか?



3. コミュニケーションカード(質問用紙)の例

五感を使って、食品を選べるものでしょうか

これまで食品添加物で禁止となったものについて、どういうことが理由だったのでしょうか？

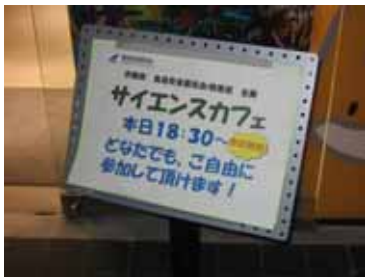
プリオン = タンパク質という説明がありました。人にとって栄養となるものにもタンパク質が入っていました。危害要因としてウイルスなどは分かりやすいですが、タンパク質が体を攻撃する、危害を加えるとはどういう事ですか？

なぜ食中毒は減らない？

食中毒の話がありました。自家中毒が多いのか、外食が多いのか、加工食品または仕出し弁当などが多いのかわかりませんでした。教えてください。

クローンの技術(問題)については、どういう認識をお持ちですか？

4. 会場の様子



事前登録の有無に関わらず、参加できる形式



スピーカー、コーディネーター、参加者の皆さんが気軽な雰囲気でお話しをします。



「コミュニケーションカード」(質問用紙)を参加者に渡し、係が集めて廻り、ボードに掲出。

食の安全を科学する「サイエンスカフェ」第2話 実施報告

1. 開催概要

主催 食品安全委員会、群馬県

会場 ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)

開催期間・時間 平成21年3月4日(水) 18:30 ~ 20:00 予定終了時刻を10分程超過

来場者数 37名(一般の方 36名、新聞記者1名)

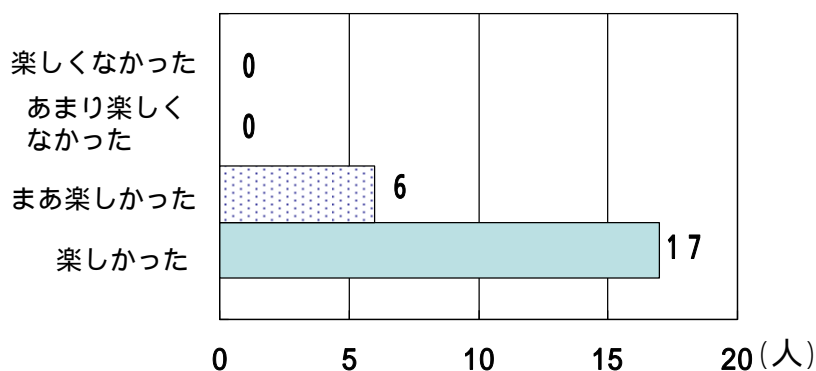
テーマ すべての物質は毒であり、薬である？

コーディネーター: 田柳恵美子(公立ほこだて未来大学特任准教授)

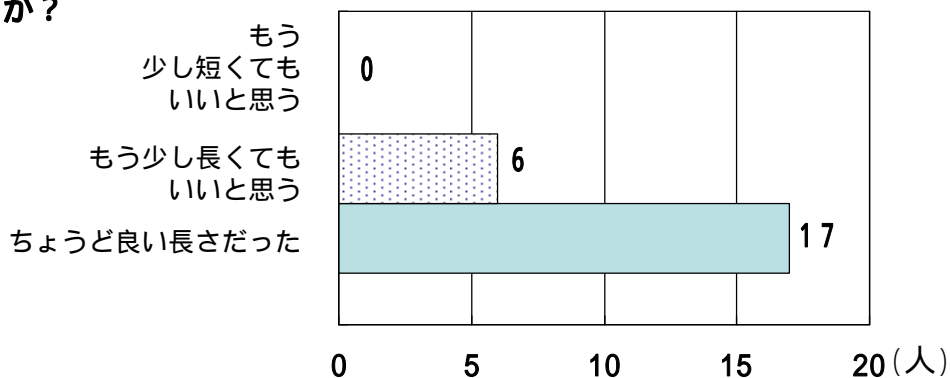
スピーカー: 小泉委員

2. 来場者アンケート結果(単純集計のみ 回答数: 23)

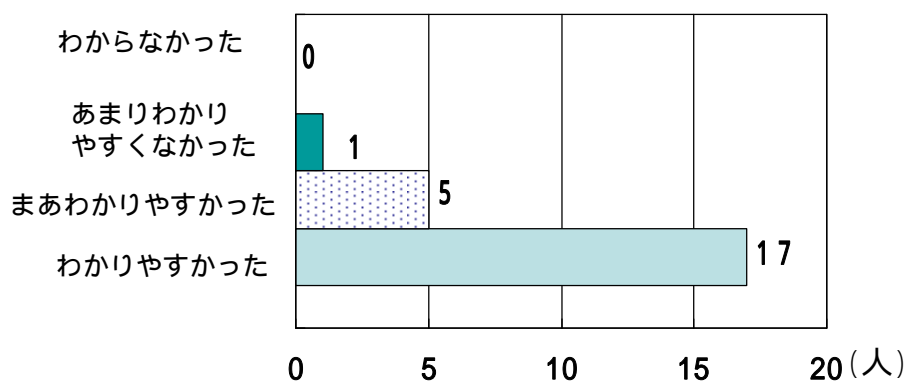
問1. 本日のサイエンスカフェは
楽しんでいただけましたか？



問2. 全体の時間はどうでしたか？



問3. スピーカーの話は
わかりやすかったですか？



3. コミュニケーションカード(質問用紙)の例

ADIはNOAELの1/10×1/10ということですが、どうして1/10なのですか？人は他の動物に比べて10倍繊細なのですか？

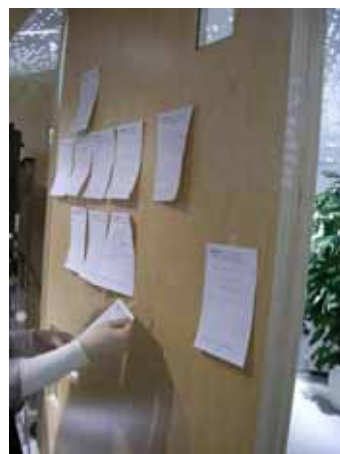
ADIの実験動物は何が使われるのですか？

無毒なものが二つなり三つ重なって摂取すると有毒になるという例はありますか？

野菜や果物などに含まれる天然の毒性物質や発ガン物質の安全性の評価や摂取量の目安はどのように試験されているのでしょうか？

リスクとベネフィットを比較させながら(リスクとメリットをどうとるかを消費者に考えさせる)広報はできないか？

4. 会場の様子



「コミュニケーションカード」(質問用紙)を参加者に渡し、係が集めて廻り、ボードに掲出。

コーディネーター、スピーカー、参加者の皆さんが近い距離で、話し合います。

